



学校教育目標「かかわる つながる よく生きる」

天応小・中学校 学校だより 令和4年12月

描ける 架ける 翔る



呉市立天応小学校 Tel 0823 (38)7584

呉市立天応中学校 Tel 0823 (38)7545

試すことを繰り返す……そして、成功の再現性を高める

11月21日から、2022FIFAワールドカップ（カタール大会）が開幕しました。

職場や学校で、最近の朝は、「日本、勝ったね。」「うーん……残念、やばいかも。」「やった。奇跡だ。」と、少し眠い目をこすりながらの会話となったのではないのでしょうか。（12月5日現在）

日本代表が勝利を収めたドイツ戦とスペイン戦は、いずれも似たような展開となりました。

前半は積極的にボールを奪いにいきながら最少失点で耐える。後半は、前半の反省から、よい守備からよい攻撃に移ることができるように、選手交代とシステム（選手の守備や攻撃時の配置）の変更を組み合わせながら戦う。リードしたら粘り強く守り切る。

こうした戦い方は、過去のワールドカップ大会やテストマッチにおける各国代表との対戦からの知見。

そして、ドイツやスペインなどヨーロッパのリーグに参戦している代表選手たちが、世界レベルの選手達と日常的に対峙し、守備や攻撃においてうまくいったことを場面に応じて再現し、うまく組み合わせた。

つまり、この度の日本代表の2つの勝利は、選手及びチームが、個人やチームの**成功の再現性を高めた**結果であると考えます。（もちろん、基本的な技能や体力等を向上させることを怠ることなく。）

この成功の再現性を高めることは、人が学ぶとき、成長するときも同様であると考えます。何か上達したいとき。学びを深めたいとき。テストでよい結果を出したいとき。

試す。うまくいかない。試す。うまくいかない。少しうまくいった。

うまくいかなかったことは改め、うまくいったことをまた試す。

こうして試すことを繰り返すことが、成功の再現性を高めることにつながる。

児童の皆さんは、実現したいことに向け、すべきことをやってみること。自分なりの工夫を試すこと。

生徒の皆さんは、やるべきことは必ずやること、自分なりの工夫を試すことに加え、反省、改善を繰り返すこと。結果がでるまで、粘り強く繰り返すこと。

学校や家庭における大人の役割は、試すことを支えること。そして、何よりも大切なことは、変化に気付くこと、特に、うまくいった瞬間を捉え、そこまでの頑張りを褒めてやりたいものです。

挑戦する勇気をたたえ、成功を自信につなげ、自らの力で伸びていくように支えていきたいですね。

呉ポートピアロードレース大会（天応小中）

12月4日（日）9時より、呉ポートピアロードレース大会（主催：天応体育協会）が開催されました。

朝から天候が心配でしたが、雨が降ることも、寒くもなく無事実施することができました。前日準備から当日の雨で濡れた走路の整備、そして後片付けまで、三崎会長様をはじめ天応体育協会の皆様にご心より感謝申し上げます。そして、走路の見守りをいただいたPTA、消防団、民生児童委員の皆様も本当にありがとうございました。

3・4年生男女1kmをスタートに、1・2年生750m、5・6年生1.5km、一般女子1.6km、一般男子2kmの距離を子供たちは、みんなの声援を受けて、最後まで走り抜きました。走り終わった後は、表彰式、そして、子供たちが一番楽しみにしていた豚汁をいただくことができました。3年ぶりの豚汁は格別だったようです。女性会の皆様本当にごちそうさまでした。

豚汁をいただいた後は、「呉ポーハンドツリープロジェクト」に参加しました。



呉ポーハンドツリープロジェクトとは、クレアラインの4車線化事業に係る、土砂一時置き場周囲のブラインドボードへ壁画を描き、手形によるアートを作成するものです。(こだまこずえ先生監修)

片手に、ポリエステルの手袋をはめ、そこに絵の具を塗っていただいて、手形をボードに一人ずつ押していきました。すてきな天応の夢と未来が描かれている大きな作品に、子供たちも感動していました。

誘導や指導のお手伝いをしてくださった西本様をはじめ呉ポートピア友の会の皆様、本当にありがとうございました。地域との温かい結び付きを、皆が感じる事ができた一日となりました。



野外活動（5年生）

11月9日（水）、10日（木）の一泊二日で、5年生の野外活動が国立江田島青少年交流の家で実施されました。これまでコロナの影響で2度の延期を余儀なくされていたので、実施できた喜びは子供たちはもちろんのこと教職員にも大きかったです。この度のメインの「カッター研修」を一日目の午後に終え、その夜の「キャンドルのつどい」、二日目の「江田島焼」、「カブラ研修」と全てのプログラムを楽しく行うことができました。学校に帰着した際は、この二日間の体験によって大きく成長したことが、子供たちの顔つきが変わっていることではっきりとわかりました。



小学校学習発表会

11月19日（土）の午前、3年ぶりに「学習発表会」を行いました。これまで2年間、参観日という形で音楽室で、しかも学年を2つに分けて入れ替え制で見えていただいたのですが、感染状況は厳しいものの今年度は各学年の入れ替え制で「新体育館」で披露することができました。

当日まで、各担任や担当は、子供たちの一番輝いているところを見ていただこうと必死になって指導していました。子供たちは、それに応えて、お家の人にいいところを見ていただこうと一生懸命努力を重ねていました。そして迎えた当日本番。

当日は、教員も子供たちも緊張していましたが、それぞれの学年の発表は、努力と思いがとてもよく伝わってきて、そこにはすべて感動がありました。行事のもつ力を改めて実感しました。この行事を通して、学校もまた一つ大きくなったような気がします。

応援本当にありがとうございました。



重層屋体1階 特別教室準備進行中

重層屋体（新体育館）の1Fには、図書メディアセンターを中心に、その周りを5つの特別教室（音楽室S、美術室、技術室、家庭科室S、理科室S）が配置されています。

11月21日（月）各教室の整理戸棚等の配置。11月28日（月）、29日（火）東久保から机、荷物、教材等の搬入。今後、12月中旬に書架の設置と小学校と中学校の図書の引っ越しが計画されています。3学期のスタートには、この重層屋体1階を使った授業等が開始できるように諸準備を進めてまいります。

